

RA-a-2c

# 自動処理\_TRIZol LS 前処理凍結血液サンプルからの total RNA 分離

## プロトコル

### 1. Trizol 前処理、サンプル凍結

新鮮血液 1mL\*<sup>1</sup>、4°C 2000g、15 分遠心する



遠心上清を廃棄する



← 血球ペレットに TRIzol LS\*<sup>2</sup>: 1mL を添加する

ボルテックスでよく混ぜる: 30 秒(最大回転数) \*<sup>3</sup>

軽くスピンドウン



-80°C 保存

### 2. 凍結血球ペレットから RNA 抽出

-80°Cフリーザーから凍結血球ペレットを取り出し、室温解凍(約 10~15 分間)\*<sup>4</sup>



ボルテックスでよく混ぜる: 30 秒(最大回転数)



← クロロホルム\*<sup>5</sup>: 200 µl 添加

ボルテックスでよく混ぜる: 15 秒(最大回転数)

室温静置 2 分



4°C、12000g、15 分遠心

上清 520ul を新しい 1.5mLMicrotube に分注



← エタノール 250 µl 添加

ボルテックスでよく混ぜる: 5 分(最大回転数: 約 2000rpm)、軽くスピンドウン

ライセート全量を 2mLMicrotube に分注

装置にセット

Protocol: RNA BLOOD

\*サンプルチューブのセット方法については、

Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

1. ライセートをカートリッジにアプライ
2. 加圧
3. Wash Buffer(WRB)で 1 回洗浄
4. DNase 処理\*<sup>6</sup>
5. Wash Buffer(WRB)で 2 回洗浄
6. 溶出液(CRB)を添加し、total RNA をコレクションチューブに回収

Total RNA

サンプルの種類・保存条件などによっては分離できない場合もあります。  
データに関しては保証しておりません。  
分離した核酸には目的以外の核酸(例: DNA 分離には RNA)が含まれています。

\*1. 必ず 1mL の新鮮血液をご使用ください。

\*2. 推奨製品:  
Life Technologies 社 ambion®  
製品名: TRIzol® LS Reagent  
型番(REF): 10296010

\*3. サンプルと TRIzol® LS Reagent がよく混ぜることをご確認ください。

\*4. 解凍後に速やかに抽出作業へ進んでください。

\*6 推奨 DNase 製品

Promega 社

RQ1 RNase-Free DNase

型番: M610A

## 結果

---

QuickGene-Auto12S を使用して total RNA を分離しました。

### Total RNA の収量

サンプル ID	#1	#2	#3	平均
収量 (μg)	6.0	5.3	5.5	5.6

### タンパク質の混入：A260/280

サンプル ID	#1	#2	#3	平均
A260/280	1.98	2.02	1.99	2.00

### RNA 品質：RIN

サンプル ID	#1	#2	#3	平均
RIN	7.5	8.5	8.5	8.2

## 共通プロトコルサンプル

---

サンプルの種類・保存条件などによっては分離できない場合があります。  
データに関しては保証しておりません。  
分離した核酸には目的以外の核酸（例：DNA 分離には RNA）が含まれています。